

見渡す限り、春のきいろ

市町村
紹介コーナー
五泉市
[下越エリア]

令和6年に誕生した新たな花スポットは、
見渡す限り一面黄色の世界。
雄大な山々をバックに青空と菜の花のコントラストが広がります。
新潟大学農学部敷地(村松公園向かい) 4月上旬～中旬

NIIGATA CONSTRUCTION TECHNOLOGY CENTER

新潟県 建設技術 センターだより

2026 春号 Spring

CONTENTS

- 特集
- 02 市町村紹介コーナー 五泉市
- 04 発注者支援事業紹介
- センターINDEX
- 05 けんせつセミナー・
クリエイティブセミナーのご案内
- 06 建設材料試験の豆知識
- 07 雪のことば・雪のころ
- 08 憩いの場所巡り ラポルテ五泉
編集後記



一般財団法人

新潟県建設技術センター

<https://www.niigata-ctc.or.jp/>

〒950-1101 新潟市西区山田2522-18 TEL.025-267-4804 FAX.025-267-4854



仙見川溪谷



Gosen

五泉市

五泉市のプロフィール

面積／351.91km²

人口／44,703人(令和7年12月末現在)

世帯数／18,968世帯(同上)

<https://www.city.gosen.lg.jp>



五泉市は新潟県のほぼ中央に位置し、県都新潟市の南東に隣接する市です。北東部に大河・阿賀野川が流れ、この水系である早出川をはじめ、良質で豊富な水資源に恵まれており、古くから絹織物の産地として知られ、戦後めざましい発展をみたニット産業は、全国的な産地となっています。また、山、川、水と豊かな自然の恵みの中で、全国的にも有数なチューリップ、ぼたん、さといもの産地であり、栗、銀杏など数多くの特産品を生み出しています。





「花のまちごせん」を
彩る可憐な花々。
春の五泉に出かけてみませんか。

開花情報をチェック! ▶▶▶



おでかけ1

3月下旬
~
4月上旬

ふれあい自然の里 水芭蕉公園

五泉市の東南、菅名岳の麓にある「ふれあい自然の里 水芭蕉公園」では、園内の木道を歩きながらゆっくりと水芭蕉を観賞できます。白い妖精のような花々が咲きそろう光景は、どこか幻想的です。



おでかけ2

4月上旬
~
4月中旬

村松公園桜まつり

「日本さくら名所100選」に選ばれている村松公園では、約3,000本の桜が一齐に咲き誇ります。園内には遊具や鹿園もあり、家族連れにも人気のスポットです。まつり期間中はマルシェの開催や屋台・キッチンカーが出店し、園内は多くの人で賑わいます。



おでかけ3

4月中旬
~
4月下旬

チューリップまつり

赤・白・黄色100万本のチューリップが並んで咲き、訪れる人をお出迎え。チューリップの抜き取り販売などイベントも好評です。色鮮やかに広がる花のじゅうたんをお楽しみください。



おでかけ3+

4月中旬
~
5月上旬

チューリップ回廊 「ルデフル」ラポルテ五泉

フランス語で「花のみち」を意味する「ルデフル」は、高さ2.4m、長さ30mの花の回廊です。全18品種・約4万8千本のチューリップが春風に揺れ、さまざまな表情を見せてくれます。(P.8でラポルテ五泉を紹介しています)



おでかけ4

5月上旬
~
5月下旬

花木まつり

花めぐりの締めくくりは花の王様・ぼたん。東公園内にある「ぼたん百種展示園」では、120品種5,000株が大輪の花を咲かせ、訪れる人を圧倒します。また、少し遅れて見頃を迎えるしゃくやくも楽しめ、春の余韻を感じられます。

ハートのチューリップにも出会えるかも。探してみよう。





一般国道290号交通安全対策(通学路緊急・補正)歩道整備 工事

工事概要

一般国道290号は、第二次緊急輸送道路に指定されている重要路線であり、設計箇所付近の24時間交通量は約7,000台/日、大型車混入率17.8%(H27 センサス)となっています。周辺には小学校もある市街地が形成されており、歩行者の安全確保を目的とした事業です。

本工事は、五泉市上木越地内の一般国道290号を拡幅し、既存道路に幅員2.5mの歩道を新設する工事です。

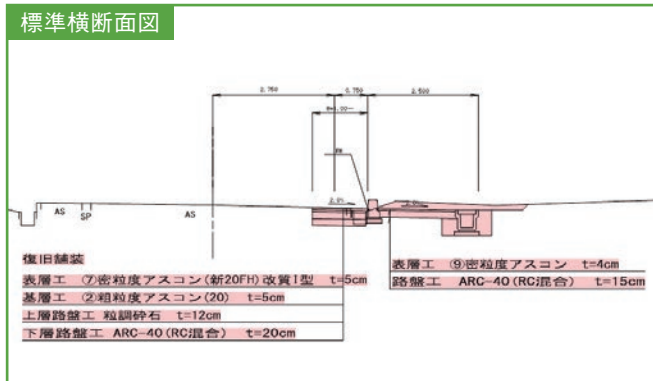
工事内容

工事名 / 令和7年度 交安対補 第0301-00-00-01号
一般国道290号 交通安全対策(通学路緊急・補正)歩道整備 工事

工期 / 令和7年7月～令和8年3月

発注者 / 新潟県新潟地域振興局 新津地域整備部

工事内容 / 施工延長 L=185m
側溝工 L=182m
縁石工 L=122m
アスファルト舗装工 A=527㎡



現場技術員 から一言

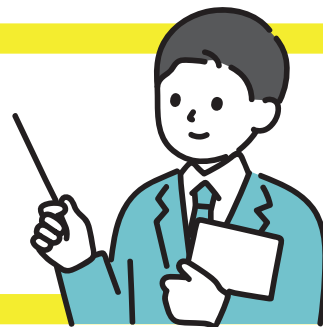
現場技術員 丸山 航平

本工事箇所は作業帯確保のため、現道を片側交互通行により規制し、一般車両を通しながら施工することが求められました。本路線は交通量が多いことや、一部の横断水路に用・排水路が近接して敷設されていることから、道路の規制方法や施工手順について、発注者及び受注者と打合せを密に行い、工事の進捗に関する情報を共有し各種立会を実施することで、円滑に工事を終えることができました。

今後も継続して工事が実施される際は、発注者支援業務を通して道路利用者の安全・安心確保のため、事業実施に貢献したいと思います。

けんせつセミナー

— 2026のご案内 —



県・市町村職員、建設事業関係者を対象に、多様化する建設課題に適切に対応できる視野と民間技術の発達に対応できる技術的能力の向上などを目的として「けんせつセミナー」を実施しています。

けんせつセミナー2026 開催予定

No.	研修名	受講対象者			CPD 認定	No.	研修名	受講対象者			CPD 認定
		県	市町村	民間				県	市町村	民間	
1	初任者技術研修		○		○	9	道路設計	○	○	○	○
2	土質・地質調査I(基礎編)	○	○		○	10	橋梁I(下部工の設計・施工編)	○	○	○	○
3	土質・地質調査II(応用編)	○	○		○	11	橋梁II(上部工の設計・施工編)	○	○	○	○
4	道路施設の補修・補強技術	○	○	○	○	12	道路舗装の調査・設計・施工	○	○	○	○
5	自然災害時の危機管理	○	○		○	13	仮設構造物の計画と施工	○	○	○	○
6	土木施工管理	○	○		○	14	雪氷技術	○	○	○	○
7	斜面对策技術	○	○	○	○	15	コンクリート構造物の維持管理	○	○	○	○
8	公共工事発注者のコンプライアンス	○	○		○	16	ICT施工および災害対応における最新技術の活用事例	○	○	○	○

クリエイティブセミナーのご案内

県、市町村などの職員を対象として、これからの社会資本整備に向けて必要とされる幅広い知識や本質を的確に捉える能力の向上を図るための研修「クリエイティブセミナー」を、県土木部との共催により実施しています。今年度も魅力あるクリエイティブセミナーを計画しております。



令和7年度 クリエイティブセミナー 開催実績

回	テーマ	講師
1	“ファミスタの父”が語る、現場をワクワクに変える魔法	遊びと学び研究所 岸本 好弘 氏
2	高橋なんぐの会話術	新潟お笑い集団NAMARA 所属 高橋 なんぐ 氏
3	地方自治体とAIが拓く国土強靱化	一般社団法人日本建設情報総合センター 顧問 岡村 次郎 氏

詳細が決まり次第HPに掲載いたします。
多数のご参加をお待ちしております。

新潟県センター クリエイティブセミナー



建設材料試験の豆知識



JNLA登録試験所の役割について

JNLA^{※1}とは、産業標準化法（JIS法）に基づく試験事業者登録制度のことです。この登録制度は、（ISO/IEC 17025）の要求事項に適合しているかどうかIAJapan^{※2}の審査を受けて適合と認定されるとJNLA標章を付けた試験結果報告書を発行することができる制度です。

※1 JNLAとは、Japan National Laboratory Accreditation system（産業標準化法試験事業者登録制度）の略

※2 IAJapanとは、International Accreditation Japan（独立行政法人 製品評価技術基盤機構 認定センター）の略

1. （一財）新潟県建設技術センター JNLA登録試験項目



JNLAは、産業標準化法に基づく試験事業者登録制度の標章で、当法人試験課は、土木・建築分野の登録試験事業者です。（070242JPは新潟本所試験所、220427JPは長岡支所試験所の登録番号です。）

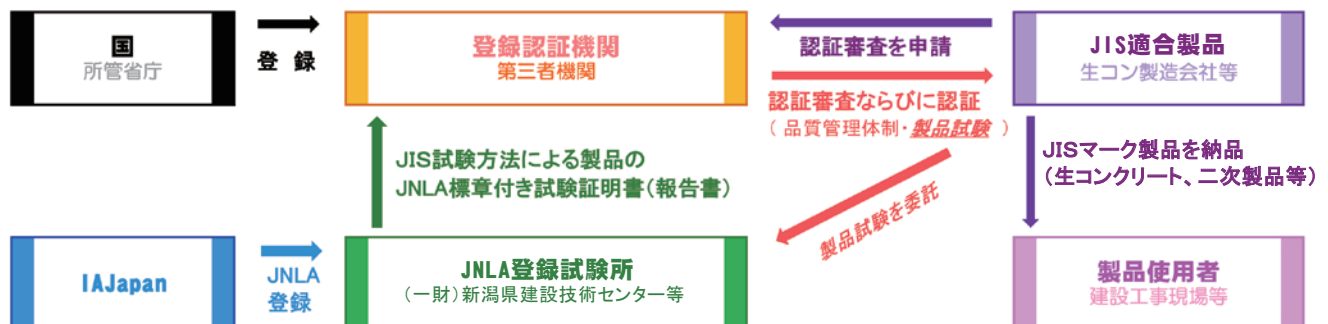
以下の登録試験項目は、ご指定いただければJNLA標章を付けた報告書の発行が可能です。

- ・JIS A 1106 コンクリートの曲げ強度試験方法（ただし、供試体の作製を除く）
- ・JIS A 1108 コンクリートの圧縮強度試験方法（ただし、供試体の作製及び付属書Aを除く）
- ・JIS A 1102 骨材のふるい分け試験方法
- ・JIS A 1121 ロサンゼルス試験機による粗骨材のすりへり試験方法
- ・JIS A 1145 骨材のアルカリシリカ反応性試験方法（化学法）（ただし、8.3はc)に限る）

2. JISマーク表示制度におけるJNLA登録試験所の役割について

国に登録された登録認証機関において、製品製造メーカーの品質管理体制の基準適合性や製品試験による審査からJISへの適合性が評価され、全ての基準に適合していることが確認された製品にはJISマークを表示することができます。JNLA登録試験所は、この製品試験における品質を証明（試験結果報告書）する役割を担っています。

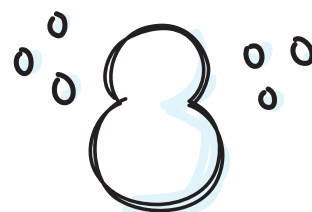
【JNLA登録試験所の役割イメージ】



引用文献：日本産業標準調査会 「JISマーク表示制度の概要」

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 認定センター 「JNLA・ASNITEの利用・活用事例」

雪のことは・雪のころ



今年の大雪

国立研究開発法人防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター 上石 勲

新潟県では、今年も大雪となりました。図1に示すように、2月初めには新潟県内の多くの観測点で平年の1.5倍以上の積雪となっています。2月2日には雪氷研で積雪深201cmとなり(図2)、8年ぶりの大雪となりました(図3)。図4のように、12月には雪は少なめでしたが、1月の後半から2月初旬にかけて大雪となり、一気に2mを超えとなりました。

長岡市内でも多くの雪が屋根に積もり、私の住んでいるアパートでは部屋のふすまの開け閉めができなくなりました。近くの建物では倒壊や底の損壊などが多くみられました。アパート脇の空き地で測定したところ、400kg/m³の重さとなっていました(図5)。

また、長岡市内の道路では消雪パイプが設置してあるところでも大量降雪のため雪が融け切らず、自動車の通行にも大きな支障をきたしていました(図6)。現在、この大雪の解析を進めているところです。



図2 雪氷研で積雪深2m突破(長岡市 2月2日)

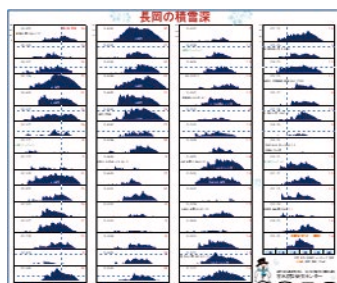


図3 雪氷研の過去の積雪記録

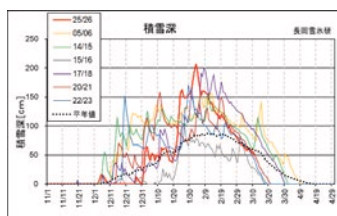
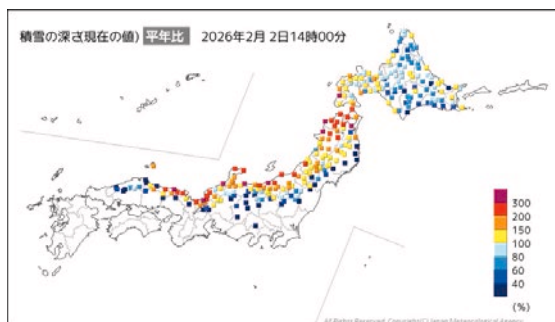


図4 雪氷研の積雪深データ

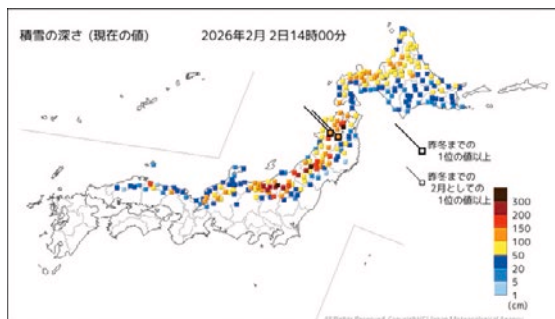


図1 積雪の深さ(気象庁)



図5 上石居住アパート脇(長岡市 2月)



図6 消雪パイプでも融け切らず道路幅狭まる(長岡市 2月)

憩いの場所巡り

ラポルテ五泉

ラポルテ五泉は、生涯学習エリア、産業振興エリア、共用エリアの3つのエリアからなる複合施設です。客席数500席のホールやニット製品・農産物や特産品を取り扱う産地直売所、地元野菜を使用したメニューを提供するカフェ、雨や雪の日でも屋内で楽しく遊べる子どもの遊び場などがあります。



産地直売所・カフェ

産地直売所では、五泉産の新鮮な野菜や農産加工品、特産品など五泉の「美味しい」を取り揃えています。また、カフェでは地元野菜を中心とした食事メニューが楽しめます。



ラポルテ五泉

〒959-1821 新潟県五泉市赤海863番地
TEL.0250-41-1612

開館時間:午前9時～午後10時まで
休館:毎月第2火曜日および年末年始
※一部トイレは24時間利用可能



子どもの遊び場

ネット遊具や木製すべり台などを備えており、小さなお子さんも安心して遊べる専用のスペースもあります。雨や雪の日でも親子で楽しく過ごすことができます。



多目的ホール

客席数500席を備え、音楽演奏や演劇などを行えるホールとしてはもちろん、客席を収納すれば約500平方メートルのワンフロアとなり、さまざまな催しでの利用が可能です。

ラポルテ五泉は、生涯学習と文化振興、観光と産業振興の拠点であり、子どもの遊び場や休憩機能も備えた複合施設として、令和3年10月2日にオープンいたしました。

愛称の「ラポルテ」の「ポルテ」にはフランス語で「扉(Porte)」という意味があり、五泉市の発展に向け新たな扉が開かれる拠点になってほしいという願いが込められています。

施設内には、客席数500席の多目的ホールがあり、コンサートをはじめ各種イベントに使用されています。子どもの遊び場には、ネット遊具や木製すべり台などがあり、雨や雪といった天気の良い日でもたくさんのお子さんが元気に遊んでいます。また、地元野菜や農産加工品などの販売を行う「産地直売所」があったり、地場産業であるニット製品の展示・販売も行っております。カフェスペースでは地元食材を使用したメニューや、季節限定メニューなどが楽しめます。休日には雑貨や手作りアクセサリーを販売する店舗や、屋外にはキッチンカーの出店もあり、多くの人で賑わっています。

五泉市のランドマークであり、五泉回遊観光の「玄関口(ゲートウェイ)」として位置付けられたラポルテ五泉は、交流人口の拡大と地域の活性化に大きく貢献しています。

編集後記

やわらかな春の日差しが心地よい季節となり、新年度がスタートしました。この春号では、五泉市様を特集させていただきました。ご協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

今年度も当センターは、「信用・信頼」をモットーに豊かな地域づくりのサポート役として、職員一丸となって取り組んで参ります。引き続きご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

編集委員 総務部 小川莉奈

